



# 第55号



編集・発行人

ふれあいサンホーム編集委員会

<http://www.ksunhome.or.jp>

2020 2020 2020 2020 2020 2020 2020 2020 2020 2020 2020 2020 2020 2020

## 移乗介助の強い味方

この度、移乗サポートロボット「Hug」(ハグ)を購入しました。



「Hug」は、居室・トイレ・脱衣所など座位間の移乗動作や立位保持をサポートしてくれます。

「本当はまだ自身の足の力は残っているのに様々な理由により足を使う機会が少なくなってしまっている方が、自身の脚力を活かしながら最小限の介助で移乗することをサポートする。」

(メーカーHPより)

といった特徴があり、更に介助をする生活支援員の職業病ともいわれる、腰痛などの原因となる身体への負担も軽減できます。

実際に使用してみると、利用者様は“おんぶ”をされるような感覚で立つことができ、ロボットは抱きしめる(「Hug」)するように利用者様を抱えます。



「Hug」の購入にあたっては、日本労働安全衛生コンサルタント会様より補助金をいただきました。

介護を受ける“利用者さま”と、介護をする“生活支援員”の双方が、安心できる環境を作っていきたいと思います。

# “いざ”という時のために

1923年9月1日に発生した「関東大震災」にちなみ、1960年に「防災の日」が9月1日に制定されました。

また、8月31日～9月1日付近は、台風の襲来が多いことから、改めて、1982年に「防災の日」及び「防災週間」が設けられたそうです。

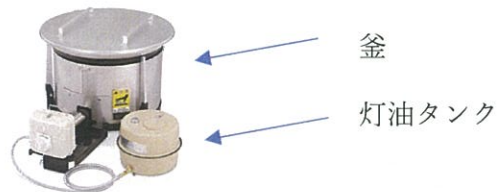
当施設においても、“いざ”という時のために、いくつかの取り組みを行いました。

## 移動かまどの購入



【移動かまど】

災害時に備え、炊き出し用の「移動かまど」を購入しました。  
このかまどは、灯油バーナーで加熱調理ができ、1杯分を米0.75合とした場合、約135杯分(10升)の炊飯量を1度に炊くことができます。



(大和重工株式会社 HP より)

万が一ライフラインが止まってしまうとしても、利用者の皆さん、職員はもちろんのこと、地域の皆さまにも温かい食べ物が提供できます。

## 自然災害時避難訓練

2020年12月10日(木) 自然災害時避難訓練を行いました。



【出陣式】



【車いすとリヤカーを使用】

災害対策マニュアル(平成29年2月1日)の第2章の4「施設外の集合場所への避難誘導」に基づき、災害により現施設が倒壊の恐れがある時を想定し、その際、利用者の方々に指定避難所まで安全に避難させるためのルートを確認することにより、いざという時の備えとすることを目的としています。

当施設は小高い丘の上に建っているため、指定避難所まで誘導するには「坂」を避けては通れません。防災セットを担ぎ、折り畳み式リヤカーを引き、車いすを押して誘導する場合に「危険箇所は何か所くらいあるのか」「車いすを誘導する際に障害になるものはないか」「万が一、谷に向かって前向きに車いすを押してしまったら・・・」など、想定されるリスクを確認しながら歩を進めました。

実際に歩いてみると、いくつもの課題が見えてきました！

地図を広げて会議室で構想を練っているだけでは分からないことが、実際に訓練をすることで身をもって確認することができ、有意義な訓練となりました。まさに、百聞は一見に如かずです。

見つかった課題を検討し、更に万全を期したいと思います。



【坂道での車いす誘導】

# 訓練を繰り返すことが、最強の備えになる

## AED・心肺蘇生訓練

2020年11月11日(水) 金津サンホームにて「AED・心肺蘇生訓練」を行いました。

講師として、嶺北あわら消防署 警備課 児嶋様、山田様をお招きし、心肺蘇生の手順として、半身人形を使用し心臓マッサージのやり方、AED(自動体外式除細動器)の取り扱いについてご指導をいただきました。



心臓マッサージの目的は、蘇生後の後遺症等を防ぐために脳への酸素供給を滞らせないことにあるので、絶え間なく行う必要があり、並行してAEDを準備し、必要がある場合には電気ショックを与えることで心拍の再開を促します。 いつ何時災害に見舞われるかもしれない・・・

“いざ”という時に落ち着いて対応ができるよう、当日受講した職員から全職員へ伝達講習も行いました。

## 自主避難誘導訓練・消火訓練

2020年11月18日(水) 今年度2回目の自主避難誘導訓練が行われました。

今回は、早朝(夜間)の出火を想定した利用者の避難誘導訓練及び自動火災報知機と火災通報装置の連動による消防署への通報等を目的とした訓練で、夜勤職員、早出職員、厨房職員、夜警員の6名にて手順書に則り行われました。

訓練に当たり、嶺北あわら消防署から、高戸様、齊藤様、上野様にお越しいただき、訓練の様子を確認していただき、高戸様より「素晴らしかったと思います。訓練で成功し本番で失敗するよりも、訓練で失敗して本番で成功する方が良いので、繰り返し訓練を行ってください」との講評をいただきました。



避難誘導訓練終了後、当施設の駐車場にて消火訓練が行われました。

嶺北あわら消防署の齊藤様より消火器を使用する際の注意点をご講義いただき、実戦!

「火災が起きました。初期消火をお願いします」との声掛けを合図に、「火事だ🔊火事だ🔊」と呼び掛けながら、水消火器を用いて火元を見立てた的に向けて消火。

頭でわかっているにもかかわらず実際に炎を目の当たりにした時、冷静に行動できるのか・・・と、正直不安に思う気持ちもありますが、訓練を重ねることで迷いなく迅速に行動ができるよう取り組んでいきます。



## 更なる備えを!

福井県社会福祉法人経営者協議会様より、衛生用品3点をいただきました。

内容としては、サージカルマスク・アルコール消毒液・フェイスシールドで、消費速度が速く、いずれも必需品です。

インフルエンザも流行り始める時季となり、いただきました衛生用品を含め、更なる備えをしていきたいと思っています。



## 激励訪問をいただきました

2020年12月11日(金) 社会福祉法人 永平寺町社会福祉協議会 常務理事 江守様より、激励金と永平寺町長からのメッセージ付き永平寺 DVD の贈呈をいただきました。



新型コロナウイルス感染予防のため、今年は職員から永平寺町出身の利用者の方(3名)へお渡しいたしました。

## よいお年を

お正月に向けて門松の設置をさせていただきました。  
門松を見ると今年ももう終わってしまふのだな・・・と実感し、少しさみしい気持ちになります。  
来年は利用者様にもっと笑顔が溢れる素敵な年になりますよう、職員一同努めて参ります。



## 虐待防止月間！！！！



10月は虐待防止推進月間ということで、権利擁護・虐待防止特別研修が行われました。  
月に一回職員会議等で虐待の  
ことについて話し合っています  
が、今回は田原理事長（法令遵守  
責任者）講師のもと、より深い内  
容の研修を行いました。  
「相互注意」これが一番大切。  
虐待のスタートは「小さな芽」か  
ら、どんなに小さなことでも無意  
識のうちに虐待に繋がってしま  
うことがあります。  
そのことを意識し「相互注意」  
できる風通しの良い環境を目指  
していかなければならないと  
再認識しました。

## 編集後記

近年ニュースを見てみると、よく台風や地震による災害の映像が目に見え込んでくるようになりました。どんな災害が起こるのか分からない中で利用者様の命を預かっていることの責任を改めて感じます。  
施設での訓練を通し「ただ訓練をするだけ」ではなく、色々な「課題」や「改善点」を見つけ、訓練を繰り返すことが利用者様の安全を守ることにつながるのではないかと改めて考えさせられました。

## 聖なる夜に...

サンホームにイルミネーション  
ヨンが灯りました！  
コロナ禍で、なかなか外出で  
きない利用者様の日常に、少し  
でも彩りと季節感・生活感を添  
えられたら嬉しいです。  
ツリーには利用者様が作成  
した折鶴も飾られ、より華やか  
になりました☆

